

いちご新規就農者研修を修了した研修生ら＝岐阜市
宇佐南、JA会館



研修は、経済状況の
変化や生産者の高齢
化、担い手不足を解消
しようとして実施。200
8年度から受け入れを
始め、これまでに20人
が県内で新規就農し
た。

第6期生は、水野直
樹さん(50)＝養老郡養
老町＝、山口哲也さん
(40)＝本巣市＝、篠原
恒治さん(43)＝岐阜市
＝、瀬尾陽児さん(36)
＝同＝の4人。昨年4
月から今年までの14カ
月間、岐阜市内の研修

所で、基本技術や農業
経営などを学び、来月
から新規就農をスター
トさせる。

修了式では、桑田本
部長が「皆さんの力、
愛情でイチゴを今まで
以上のブランドに育て
てほしい。中核として
県のイチゴ生産を支え
てください」と述べ、
修了証書を手渡した。

研修生は「農業人とし
ての第一歩。恩返しで
きるよう頑張りたい」
や「皆さんが笑顔にな
れるおいしいイチゴを

イチゴ農家へ決意

JA全農岐阜 就農研修生が修了式

JA全農岐阜が実施するいちご新規就農者研修所第6期生の修了式が30日、岐阜市宇佐南のJA会館で行われ、桑田博之県本部長から研修生4人に修了証書が手渡された。

(森川みどり)

作りたい」と意欲を述べた。
JA全農岐阜は来年度の研修生を募集している。希望者は7月18日までに申し込む。問い合わせはJA全農岐阜、電話

058(276)5301。